紫祭実行委員会委員長の角田美羽さんのあいさつで紫祭がスタート

ジェスチャーゲームで盛り上がったサークル・ゼミ対抗戦

東大生をパートナーに競技ダンス部は優雅な演技を披露

観客からの拍手を浴びたダンス部A☆figの熱演

昨年からYouTubeで活動を始めた「現文ラジオ」が観客を前に収録

マンガ『はいからさんが通る』のモデルは跡見学園。跡見生が袴でファッションショー

日常を活写した写真部の作品展示

力作が並ぶ書道部の作品を多くの親世代が鑑賞

袴姿の競技かるた部員に挑む来場者。かるた体験会は子どもたちにも大人気

俳優の藤原大祐さんのトークショーには多くの一般客が参加

熱のこもったバンド演奏が続いた軽音楽部

街頭で献血を呼びかける活動を行う「ボランティアサークルさくら」が出店

「自分らしく生きる」をテーマに活動する「I LADY.×跡見」のメンバー

射的やヨーヨー釣りなど縁日を再現した紫祭実行委員会の出店

野外ステージの競技ダンス部の演技を見入る観客たち

学生会・紫祭実行委員会共同の模擬店では千葉工業大の男子学生がお手伝い

販売部門で１位に選ばれて好評だった小栗ゼミのスムージー販売

紫祭実行委員会が出店したピタパン販売にはお客さんの列が

紫祭マスコットキャラクターの眉毛丸と記念撮影

会場のあちらこちらに出没し人気だった眉毛丸。２日間、お疲れさまでした！